

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

8月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

酷暑の夏とマスクと熱中症

1. 統計上、就業中死亡に含まれない熱中症死の存在

発症環境は運動中、就業中、日常生活とさまざまですが、就業中熱中症に着目した厚労省データでは発症者数は毎年500人前後、死亡者数は毎年20~30人で、熊本県内では過去10年で死亡者2名、昨年はゼロとなっています。しかし、「自宅の畑を作業中に熱中症となり死亡した」場合は、この統計には入っておらず、高齢者の畑仕事・庭掃除中の熱中症死は、山鹿市内で発生しています。

2. 夏季の環境による熱中症リスク

酷暑だった平成30年は就業中の熱中症発症は1000人超と例年の2倍に増加しました。熊本県は猛暑日の日数が例年上位に入っており、全国的にも熱中症ハイリスク地域といえます。

就業中発生熱中症患者が1000人超と例年の2倍になった平成30年と同様に、令和2年の夏は酷暑になるといわれています。酷暑では恒温環境の職場のみならず、家庭での屋内熱中症も増加します。高齢者はエアコンや扇風機の使用を好まれない場合があり、屋内熱中症のハイリスクとなります。かかりつけの先生方による、平常診察の終了時の「エアコン・扇風機をつけてね」との声掛けによる教育・啓発は高齢者が多い山鹿市内におい

ては、屋内熱中症を予防するキーポイントといえます。農業従事の高齢者には「真昼の作業はしないで」「作業の前(汗をかく前)から水分とってね」「一人で外での作業をしないように」との指導も有効的です。

3. 新しい生活様式—マスクの着用—の影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防を目的に、厚生労働省が推奨している「新しい生活様式」の1つに「マスクの着用」があります。

吐く息は気温より温度が高く、体内の熱放散の一役を担っています。また、吸気は気温と同じ温度です。マスクを装着すると、マスク内に貯留した呼気の一部を吸気として吸い込むため、結果的に温度の高い吸気が流入し、うつ熱を生じる可能性があります。

マスクは害ばかりではなく、感染拡大防止のために重要な役割を果たします。夏だけでなく冬に向けてマスクの適材適所(人との距離を保てる場合はマスクを外す等)を患者さまにお伝えいただければと思います。

診療部長兼救命救急部長 吉岡 明子

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

酷暑の夏とマスクと熱中症 P 1

医療最前線 P 2

栄養管理室のご紹介 P 3

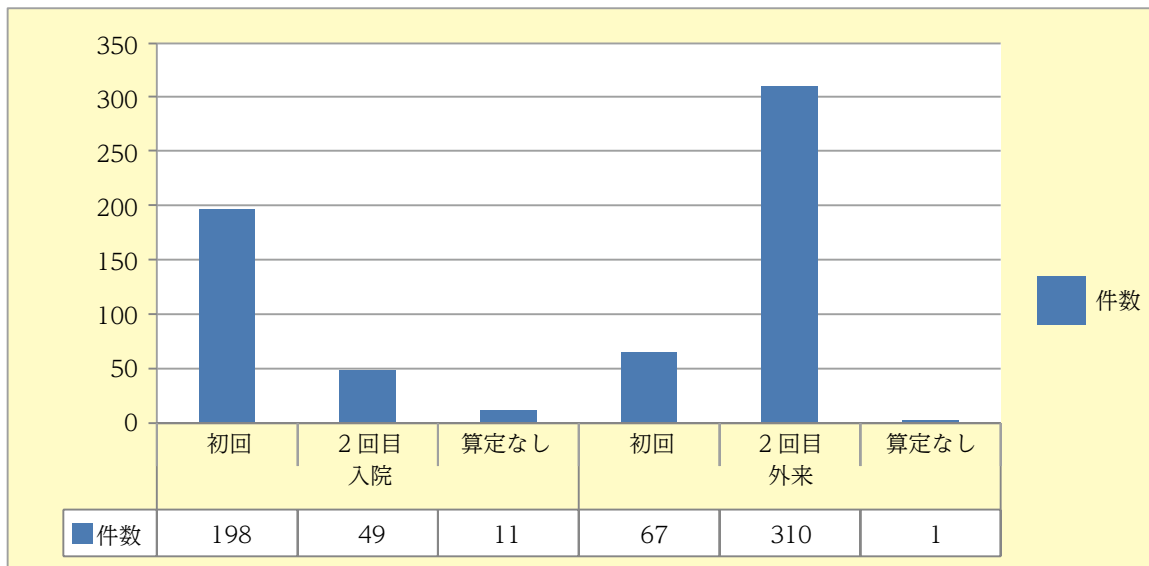
外来担当医表(8月) P 4

栄養管理室のご紹介

現在、管理栄養士4名が所属しており、栄養管理業務と給食管理業務を行っております。

栄養管理業務においては病棟担当制をとり、食事時間の病棟ラウンドも実施しています。喫食者の状態を把握し、栄養状態維持・改善に向け早期の食事介入に努めています。入院・外来の栄養指導にも携わり、食事支援を行っております。(図1) 外来での継続支援件数が増加傾向です。

図1 H31(2019)年度栄養指導件数



給食業務においては入院時に提供する食事の献立立案を行っております。病棟ラウンドでの情報や検食等の意見をもとに調理スタッフと内容を検討、食材や調理法などを調整していきます。行事食として、月に1度、お弁当箱を利用した食事をご用意しています。季節の食材をお楽しみいただければと思っております。



今後もスタッフ一同、安心・安全な食事が喫食者のもとにお届けできるよう努めて参りますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

医療最前線 (124)



2020年、夏・・・今思うこと

消化器内科
本原 利彦 先生

2020年も後半に入りましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今年はCOVID-19の猛威、豪雨災害など例年とは違うことが多く、大変な年になりましたが感染のすみやかな収束、被害にあった人々・地域の一刻も早い復興を願い、私自身も可能な限り協力していく所存です。

当科は今年から、千代永医師、柚留木医師の退職に伴い、池邊医師、冨口医師が就任し新体制となりました。旧体制より経験値では劣る部分もございますが、軽快なフットワークと患者さまへのより親身な対応でカバーし、これまで以上の医療を提供できるよう努めて参ります。

さて、これまで急性胆嚢炎に対しては、基本は外科的手術、耐術能に問題がある症例や発症から長時間経過している症例は経皮経肝胆嚢ドレナージ(PTGBD)が一般的でした。現在も手術可能であれば第一選択は胆嚢摘出術であることは変わりありませんが、人生100年時代と言われる昨今において耐術能に問題がある症例も増えてきております。これは山鹿に限らず全国的にみられる傾向です。その場合のPTGBDに関して、急性胆嚢炎の治療は可能でも、再発のリスクは下げることができないのが現状です。当院では、胆嚢に内視鏡的にステント

を留置するERGBDを行っております。

昨年のDDWでも多くの施設がERGBDに関する報告をあげていますが、共通して言えるのは、PTGBDより再発率が少ないと言う事です。他には、腹部に創部を生じず、認知症などの患者さまに対しても抑制が不要であることがメリットであると考えます。胆管ステント同様に定期的に交換が望ましいか、閉塞するまで交換不要であるかはまだ議論される余地がありますが、当院では胆嚢炎の再発予防を優先し定期的に交換しております。

また、当院で同治療により合併症を生じた経験は幸い0件ですが、手技はPTGBDよりはるかに難しいため、成功率は100%ではないことが問題点です。ガイドワイヤー操作とカテーテル操作が重要ですが、堤医師の時代から、研鑽を重ね成功率は年々上昇しております。特にガイドワイヤーのスペシャリストに進化した当院の内視鏡技師の伸び代は、成功率向上に比例していると言っても過言ではないと感じております。

最終的には、患者さまの背景や希望を考慮し、外科担当医等と相談し最適な治療方針を決めていきますが、このような治療の選択肢もあることをご報告させていただきます。

胆嚢炎に限らず、消化器疾患でお困りの患者さまがおられましたら、いつでも対応致しますのでお気軽にご連絡ください。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

8月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	池邊 賢一 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	池邊 賢一 (富口 純)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 浦上勝/石松憲明	工藤 智志 浦上 勝 石松 憲明	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 山村 謙介
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※穴見 俊樹	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美	—	※石井 真美 予防接種(午後)	※石井 真美	—
セ ン サ ー 器	耳鼻咽喉科	—	※深見 直美	—	※非常勤医師
	眼科	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
	※片淵美和子(午後) 8/4(火)、11(火)、13(木)、18(火)、25(火)、27(木)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	吉岡 明子	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までにお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30(受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

8月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜(11:00~12:00)	Bブロック
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片淵美和子	8/4(火)、11(火)、13(木)、18(火)、25(火)、27(木)	
PEG外来	担当医	隔週 第2・4水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>